

世界に拡散の必要アリ！朝鮮勢力による日本芸能界への侵蝕状況レポート

『日本の芸能界は”YAKUZA”に支配されている。

『その代表格である **Suhou Ikuo** はいわば Jimmy Hoffa のような男で YAKUZA そのものではないが、以前から YAKUZA と非常に濃密なつきあいをしていた。

『Suhou の依頼を受けて、ある YAKUZA が **Departures** などの出演で海外でも知られている女優の **Hirosue Ryoko** へのネガティブキャンペーンを張るように **マスコミに圧力** をかけた。

『同時に Suhou Ikuo の傘下のエージェンシー(芸能事務所)の所属である **Tanaka Rena** を大女優だと褒めまくる工作も依頼した。

『彼らの思惑どおり日本では Hirosue の落日が起こり Tanaka はそこそこ売れたが、結局その実績の伴わない無理強い流行は長続きしなかった。

『日本の大手広告代理店がこの社会実験サンプルを、スケートの **Kim Yuna** と **Asada Mao** の二人にあてはめて”再実験”している。

『これらのことを発言しても、全く名誉毀損には当たらない。なぜなら当の **YAKUZA** がネット上でサイトをつくり、既に**全部暴露した**内容であるからだ。『その YAKUZA が金銭トラブルで **Suhou** ともめ、彼を攻撃する側にまわったのが暴露理由である。

『これらのいかにも大衆の興味をそそりそうなゴシップネタを、何故か日本のマスコミは**全く報道しない**。逆に言えば、これをおもしろおかしく世界に広めることはニッチを狙える大いなるビジネスチャンスでもあるわけだ。

『日本のメジャーな **YAKUZA** の大半は **Korean**。だから日本人が Korean のことを批判してもそれは**レイシズム**や**人種差別**にはあたらない。人道にもとる彼らを批判することはむしろ**リベラル**で人道に則った行為。

『慰安婦の逸話は、日本人女性にレイプする時その罪の重さや自責の念を消すために朝鮮男がつくった”人工的な精神ツール”

『核兵器の部品になる機器をイランに輸出して、刑を受けた父を持つ兄弟とその仲間が、2001年頃から女優の Hirosue Ryoko の周囲に集ってタカリ行為をはじめ、うち一人は彼女と結婚までしていた。

『連中が日本芸能人をたらしこむ手法は、わざとダサくてつまらない商材で起業させ、赤字にさせてその借金返済を名目に心身を拘束するというもの。

『前述の朝鮮ヤクザ批判と同様、日本人が南京虐殺や慰安婦を誇大だと批判することも人道的行為。現地民が狡猾で勇敢だったのならそのような敵の暴虐にさいしおめおめと甘んじることなどありえず、必ず抵抗に成功し犠牲者の数を少なくおさえているはずなので、これらを相手のいうとおりに認めることは、逆に朝鮮や中国の人々を”アリのようにたやすく殺される、のろまで低能な人種”だと見下すレイシズム行為となる。

『日本の”芸能マフィア”と”反日思想宣撫左翼”と朝鮮半島発祥の”カルト的宗教”は、形は違えど朝鮮国外の女性たちの精神を惑わして性奴隷にするという共通の目的をもって結成された同質の組織で、同じ切り株から発生した木々のごとく根元も同じものであり、日本で”増殖”に成功した後、根絶しない限りはいずれ世界へと広まってゆくことだろう。

『Suhou Ikuo はギャング映画のように自分の会社の事務所が銃撃されたことがある(留守中だが)。その時期は、その1で述べた Hirosue Ryoko のバッシングについて彼が銀座のクラブで YAKUZA と謀議した翌日である。

『その宴席には、前述した Tanaka Rena の所属事務所の社長も同席していた。間違いなくこの宴席の詳細は、彼らを快く思わない者に漏れていたのだ。

『この事実が公表されたのは最近のことであるが、ネットの人間が気がつくのは早く、十年近く前から匿名の掲示板などで類似の内容の文章が拡散されていた。

『もちろん日本の有名マスコミはこれらを未だに一文字たりとも書いていない。